

2019年 春学期

社会科・公民科教育法1 第13回

**学習指導案の検討・作成:相互チェックに
よる学習指導案の改善**

学習指導案の書き方について

第10回 授業デザイン論(1): 単元観と発問の機能

第11回 授業デザイン論(2): 単元計画と評価規準について

**第12回 授業デザイン論(3): 配布資料の作成と板書計画の
検討**

**第13回 学習指導案の検討・作成: 相互チェックによる
学習指導案の改善**

次週は全ての資料と提出物をそろえて臨むこと

今日の授業の目的共有

- **指導案の修正箇所の見通しを付ける。**
- **出来るだけ多くのフィードバックを他者から得る。**

「振り返りジャーナル」について

テーマを自分で設定すること

※必ず、一番上の行に「～～？」という、
問いを立ててから書き始めてください。

※それ以外の感想なども
プラスして書いてOKです。

独自の問いを持ちながら、
授業に臨んでももらえると嬉しいです。

今日の授業の目次

フックトークの時間(15分)

【展開】

- 1. 定期試験について**
- 2. フィードバックに対する回答**
- 3. 模擬授業の趣旨説明(確認)**
- 4. 学習指導案の相互チェック**

・振り返りジャーナルの時間

ブックトーク(今日は15分で)

1. 齊藤の本紹介(1分)
2. 期限までに発表者数名の本紹介内容に対して、**2名分を選んで感想レポートを提出してください(200字とオススメ本)**
3. 今週の「ブックトークの情報共有ネットワークの構築プリント」を配ります。

今日の齊藤の1冊



尾藤正英「日本文化の歴史」

一日10分でも良いので読書が続けてみよう

この授業の目指すコンセプト

1. 学びの「遊び感」を大切にする。
2. 学びの目的意識(≒納得感)を共有することを大切にする。
3. まだ知らない自分自身を再発見し続ける。振り返る。
4. 他者から学ぶ(チームを組む)×
リットを実感する。

自分でも気を付けます。

期末試験について

定期試験について

5つの設問を出します。

- ① この半年の授業で、あなたの考え方や見方がどのように変化したか、もしくは変化しなかったか、それはなぜか？これらについて、客観的な資料に基づいて、論証して下さい。(持ち込み可)
- ② 「社会科・公民科教育法1」の定期試験問題をあなたが1問だけ出題するとしたら、何を出しますか？
- ③ フックトークで印象に残ったことと、この半年のあなたの読書遍歴(自己申請に基づく)
- ④ この授業を通して、クラスメイトから学んだり、影響を受けた特に印象に残るエピソードを、クラスメイトの名前と共に書いてください。
- ⑤ 「楽しくてアクティブで知的な授業なんて理想論だ」という意見に対して、あなたならどう答えますか？(しっかりと自分に向き合って答えていれば正解です。)

※問1のみ、資料を見ながら書いても良いです。

前回のリフレクションに 対する諸々の返答

模擬授業の趣旨説明

学習指導案の相互チェック

相互チェックの進め方

1. **3～4人一組のグループを組みます(グループはこちらで指定します)。**
2. **学習指導案をグループメンバーに配布する。**
3. **形式面のチェックをチェックリストに基づいて行っていく。
チェックリストに書かれている文章の意味自体が分からなければ、グループで話し合う。**
4. **並行して、斉藤が順番に名前を呼んで、教卓で添削する。1人3～5分程度の計算。**
5. **形式面のチェックが終わったら、導入に関する検討を始める。
(例:発問が答えやすいか、資料が効果的につかえているか)**

【重要】来週の授業の準備について

1. 来週は学習指導案の提出日です。以下の5点の提出を忘れずにお願いします。印刷は1部でOKです。

①学習指導案(A4版で印刷をお願いします)

②ワークシート

③掲示資料や配布資料などをリストアップした資料
(ワークシート以外)

④板書計画

⑤該当ページの教科書コピー

※一点でも忘れ物があると、受け取れない場合があります。

2. 「教材研究報告シート」は二日前の午後2時まで提出。

今日の「振り返りジャーナル」 の時間

テーマを自分で設定すること

**※必ず、一番上の行に「～～？」という、
問いを立ててから書き始めてください。**

**※それ以外の感想なども
プラスして書いてOKです。**

**独自の問いを持ちながら、
授業に臨んでももらえると嬉しいです。**

		生徒の姿が、授業の評価規準と意識した文末表現になっていること（厳密に文末表現が同じでなくても構いません）	
		AとBの生徒の姿の説明が、第三者が読んでもはっきり違うと判断できるような違いを含んだ説明になっていること	
		Cに関して、単に生徒の状況を書くだけでなく、生徒への支援策が書かれていること	
⑤ 本時の展開に ついて	全体として	主発問が導入と展開の間に記載されていること	
		生徒の発言や反応について、様々な記載がなされていること	
		指導上の留意点の欄が活用されていること	
	評価規準	授業時間内に、本時の授業に割り振られている評価の観点を評価できる場面が一か所以上は書かれていること	
		評価規準に対応した評価方法を書く際に、文章の最初に評価の観点が記載されていること	
		評価規準の内容が、選んだ観点对応した内容となっていること。（例えば、思考・判断・表現を評価する際に、知識だけを聞く質問になっていないか、など。）	
		評価規準に対応した評価方法が、生徒の発言、ワークシート、ノート、テストなど、現実的な手立てとして書かれていること	

【発展チェック 2-1】 導入についての検討（グループの他の人の意見を書き込んでください。）

一通りの実践をした後に、グループのメンバーから意見や感想を貰い、その内容を記入してください。

答えにくい発問はないか？ 知識ばかりを問う発問になっていないか？	「なぜ？」などの疑問を持てるような導入になっているか？

【発展チェック 2-2】 「展開～まとめ」部分の分析について

グループのメンバーから意見や感想を貰い、その内容を記入してください。

主発問に答えたような形の 「まとめ」になっているか？	主発問を追究するような展開になっているか？